

みんなの県政

46 / 3
No. 27
富山



県議会議事堂オープン



よりよい富山県づくりを審議する殿堂、富山県議会議事堂がこのほど完成。2月10日玄関ホールにおいて、清めの神事に引き続き竣工式をあげました。

式には、中田知事はじめ県議会議員、工事関係者らが集まって、おごそかに行なわれました。

これは、かねてから建設を念願されていたもので、県庁西側に約5億円を投じて建設されたものです。

議事堂は、地下1階、地上4階の、落ちついたチョコレート色で、1階は事務局、2階は各党議員控室、大会議室、図書室、議会食堂、3階は正、副議長室、知事控室、4階は、委員会室、議員控室など。

議場は3、4階の吹き抜けとなっており、傍聴席もゆったりととってあります。

なお、2月定例県議会から使用されております。

3月号

みんなの県政もくじ

- 県議会議事堂オープン……………3頁5
- 過疎を考える……………6頁8
- 子宮ガンに注意……………9
- 《カメラルポ》良質な水を送る……………10頁11
- P T Aと父兄負担……………12頁13
- 施設園芸団地化進む……………14頁15
- ご質問に答えて……………16
- 《越中史夜話》(最終回) 立山のウバ堂……………17
- 《富山県の自然》⑥ 黒部峡谷 祖母谷温泉……………18
- 最近の県政から……………19

表紙の説明“泳ぐ宝石”

福岡町や魚津市をはじめ、県内各地で“泳ぐ宝石”いわゆる養鯉が盛んに行なわれている。

100年の歴史をもつ養鯉は、改良が重ねられ、紅白から黄金、銀、緑となかなか多彩。富山の鯉は外国でも珍重され、なかには一匹千万円級の“高嶺の花”も出現している。

昨年からは、米の生産調整に伴って、水田を養鯉池に転用する農家も増加、副業から専業へと移行しつつある。





建築技術の粋をこらした 県議会議事堂の全景
テープカットする 中田知事(左)と鹿熊副議長

しょうしゃでモダンな議会大会議室

ゆったりとしたレザー張りの傍聴席には、ジュエリーが敷かれ豪華さが感じられる

4階まで吹き抜ける玄関ロビー。レリーフは、真っ赤な太陽と青い空、その下に大地に立つ人間像を配し、人間生活の不变の真理を追求している





過疎を考える

現状と対策

日本経済の飛躍的な発展は、山村から若い労働力をすいあげマキからプロパンガスへの燃料革命は、山村から都市への労働力の地すべりのな流出をもたらしました。またテレビの普及は、都市住民と山村住民の生活に大きな格差意識を呼びおこして、過疎現象をいっそう深刻なものにしてきました。

本県もこの例にもれず、過去十年間に人口が二〇割以上減少した山村地域(旧市町村)が、三〇以上もあり、とくに集落を単位としてみた場合、半減したものが全戸離村したものが、相当数にのぼっています。

このようなことに対応するた

道路交通網の整備

過疎対策の根幹は、なんといっても、道路をよくし、とくに冬期の交通を確保することでしょう。山村地域に通ずる道路はみちのりも長く、山腹を切り取って、なだれの防止も考えなければならぬため、巨額のお金を必要としますが、山村地域については、公共事業で別枠とし

め、国では山村振興法や過疎地域対策緊急措置法の立法化をはじめ、過疎、山村、へき地についての諸施策を進め、県や市町村においても単独事業や補助率のかさ上げなどの措置をとって、過疎化の防止に懸命の努力をしております。しかし最近では過疎化現象がようやく停滞したとはいえ、さらに道路交通網の整備をはじめ、生産基盤や生活環境の整備にいっそうの努力を重ね、過疎山村地域住民の所得の向上と、文化的生活の充実確保に努めなければなりません。

以下、県において過疎対策として実施している事業についての考え方や内容について、簡単にふれて見ましょう。

で、市町村道の改良を行なうとともに、県単独でバス路線道路の改良や、市町村道整備のための低利な資金の貸付などを行なっております。

最近、モーターリゼーションの進展に伴って、自家用車が激増し人口減少と相まって、過疎地域のバス利用客が激減して、

過疎バスの廃止が大きな課題となつています。

このため、バス会社との話しあいや、路線維持のため、国の補助金のほかに県が単独で補助金を出し、路線の運行確保に努めています。ところが、こんご路線の統合や公営によるバス運行も真剣に考えて行かなければならないと思つていきます。

ただ一番大きな問題は、冬期の積雪時における道路除雪の問題だと思ひますが、逐年対象路線の拡大をはかり、また、市町村が設置する除雪機械に対しても補助金を出し、冬期交通の確保に努めています。

農林業の生産性を向上

山村地帯の農業は、ほ場も狭く、いわゆる段丘田が多く、しかも零細規模のため、生産性がきわめて低く、平地にくらべて著しく劣悪な条件となつていきます。まして最近、米の生産調整の問題もあり頭の痛い話ですが、なんといっても、米は農林家所得の大宗であり、また主食の確保は不可欠の過疎対策とも考えられますので、公共事業の対象とならない小規模土地改良事業についても県単独で実施するとか、国庫補助のかさ上げ

をするとかで、強力に推進して

また林道の開設についても、毎年強化をはかる一方、県単独事業の補助率のアップや対象事業の拡大も考慮しております。

山村の中核をなす造林の拡大については、公社、公団および森林組合による分収造林を強力に進めるため、植林に対する国庫補助金三割のほかに、県単独のつぎ足しも考えられています。山林地域については、昭和四十年から山村振興法によって振興山林として指定された九市町村について、山林振興計画をたてて、毎年メニュー方式による高率な補助を出して、農林業振興のための特別開発事業を実施しています。新産業都市区域内の山村については、国の指定を受けることがむずかしいた

生活環境の整備

無医村をなくする

山村は児童生徒も少なく、通学するにも遠いため、いろいろの問題が生じています。小中学校の統合、これに関連しての寄宿舎の設置、スクール

め、昭和四十六年度からこれらの地域についても、国と同じ程度の事業を実施することになって



過疎対策の一環として建設された豪雪山村開発総合センター(利賀村)

また、へき地の医療確保はきわめて大きな問題でありますので、医師の配置に努力するとともに無医村については、巡回診療や保健婦による保健指導、歯科医の長期駐在も実施し、昭和四十六年度からは無医地区の全住民について保健カードを作成し、病気の都合地域の医師が協力して診療に当ることも計画されています。そのほか、生活環境をよくするため飲料水の確保、テレビの見にくい地域の解消や都市的機能にふれ、研修や共同調理をする施設としての山村開発センター、生活改善センターの設置などに対しても、国や県から補助されて

工場誘致で安定

町へ出れば働く場所もたくさんありますが、山村は、通勤に

集落の再編成

不便であり、日稼ぎなどは賃金も安く、身分も安定しておりません。人口を山村に定着させ、所得を高めるためには、やはり村の中に工場を誘致することが一番よいと思ひます。

このため、県では山村に工場を設置する事業者に対し、税金を免除したり、奨励金を出したり、また公共的施設に特別の補助をして誘致に努力して

本県にも過疎集落といわれる一〇戸以下の部落が一〇〇もあります。このような部落は戸数や人口が毎年減少し、年令階層を見ても、老夫婦や子供さんばかりで、青年や壮年層はきわめて少なく、部落の維持が困難となつております。なかでも冬期除雪ができず陸の孤島となる部落は、やはりその地域の基幹集落付近に集団移転し、若い人といっしょに暮らし、夏は山で働き、冬は里で暮して文化的な生活をすべさと思ひます。

国でも集落整備のためのモデル事業を実施し、個人住宅建設費の利子補給や、公共施設に補助を出していますが、県でも新年度は集落の実態を調査し、



企業誘致によって所得の向上へ

住民の要望があれば援助する
みちをひらくことを考えていま
す。

見直される山村

以上のように山村は山紫水明
で観光資源にも恵まれ、生活に
はきわめて快適なところでは
す。都市住民は大気汚染や騒音に
悩まされ、むしろ山村部に住居
を移す傾向にあり、将来憩いの
場としていっそう重要視される
時代の到来が予測されます。

県では生活連関表を作成し、
幸福のものを発表していま
すが、総合原点上で上平、平村な
ど山村地域が優位にあること
は、こんご私たちの生き方に一
つの示唆を与えるものであり、
経済優先の価値観を改め、山村
過疎地帯を見直さなければなら
ないのではないかと思われま
す。

(企画室)

ことしは、「選挙の年」と
いわれております。
四月には、第七回統一選挙
が予定され、七月三日に任期
が満了する参議院議員の通常
選挙が、六月下旬に行なわれ
る予定です。
統一選挙の投票日は県議会

自分自身の意志で投票 — 明るく正しい選挙を



統一地方選挙は、住民に直結
しており、最も身近な選挙
です。
選挙の手続がいかに公正に
行なわれても、棄権したり、
一票が自分自身の考えで投じ
たものでなければ、選ばれた
人を安心して見守っていいな

議員選挙が四月十一日、市町
村長および議員の選挙が四月
二十五日に決まりました。
選挙はいまでもなく、わ
たくしたちの生活をあずかる
政治家を、住民一人ひとりが
自分自身の判断で選ぶこと
です。とくに、地方政治を担う
いでしょうし、政治に自分の
意志が反映されないことにな
ります。
わたくしたちが、自分自身
の手で郷土を守り、育ててい
くには、事前運動や買収、供
応などの悪質な違反を監視、
排除して、有権者も候補者も

ともに明るく正しい選挙を行
なうことが必要です。そのた
めには、金や情実にかされ
ずに、候補者を十分みきわめ
ることが有権者の任務です。
「選挙公報」の発行へ
県の選挙管理委員会では、
候補者の政見を知ってもら
うと同時に、少しでもお金の
からないう選挙にするために、
今回の県議会議員の選挙から
「選挙公報」を発行するよう、
二月県議会にはかっておりま
す。
①従来は、選挙の当日、自分
の住む市町村の区域以外で
職務に従事するものでなけ
れば不在者投票ができません
でしたが、これからは、
自分の所属する投票区の区
域以外で職務に従事するも
のであってでもできること
になりました。
②従来、投票する際に、会社
の責任者などが証明する「
不在事由該当証明書」が必
要でしたが、こんごは本人
が不在事由がある旨の「宣
誓書」だけでよいことにな
りました。(地方課)

あなたは大丈夫ですか 35歳から要注意 子宮ガンの死亡増加

早期発見でほとんど治る

昭和四十三年の富山県総死亡
数は八、一一九人、そのうちガ
ン死亡者は一、四〇一人で、死
因順位では脳卒中に次いで第二
位です。

女性のガン死亡の中では、胃
ガンが最も高く、次いで子宮ガ
ン死亡が七四人、乳ガン死亡を
含めて毎年約一〇〇人の婦人が
たおれ、年令的にも三五才を過
ぎるところから増えております。
一人ひとりがちょっとした知

識や定期的な健康診断によっ
て、子宮ガンを早く見つけ、治
療すれば治るのです。

過去の子宮ガンの治療成績を
見ますと、グラフのように病氣
のまだ軽い一期から二期、三期
そして一番進んだ四期におい
て、初期の一期では治療を受け
た人のほぼ八割が完全に治って
います。

病気が進むにつれて治る人は
少なくなり、二期では六割、三
期では三割、四期では、わずか
一割しか治らない結果がでてい
ます。

これからみても、病気を軽い
うちにみつけて、早期に治すこ
とが子宮ガン絶滅のポイントで
す。

こんなときは専門医へ

子宮ガンは胃とは違い、症候
のあらわれることが多いので、
①月経以外の出血②出血以外の
おりもの③月経の異常④下腹部
の不快感、痛み、の症状があっ
たときは、早く専門医の診断を
受けることです。

症状がなくても

定期健診を

ガン症状があらわれたとき
は、病気が相当に進んでいる場

合もあるもので、健康なときでも
年一回か二回の定期的な健康診
断を受けることが必要です。

県では、富山県成人病予防協
会に委託して、市町村の申込み
によって年間計画をたて、一年
間を通じて毎日県下各所へ、婦
人検診車「ちゅうりっぷ号」を
巡回させ、健康診断を行なっ
ています。

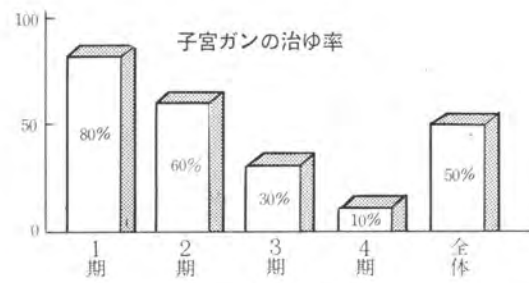
本県の集団検診成績は、下表
のとおりで、胃ガンについては
最近ガン予防の認識が高まり、
受診率の向上を促していま
す。

しかし、子宮ガンについては
は、百人の検診予定に対し、わ
ずかに五割の達成状況です。
いま、国や県、市町村におい



医師や看護婦がいないなくても、テレビカメラの遠隔操作によるコバルト60治療装置(県立中央病院ガンセンター)

ては、「子宮ガン0をめざし
て」婦人会などの関係機関の協
力のもとに、ガン絶滅の運動を



集団検診実績

区分	子宮ガン検診			胃ガン検診		
	検診日数	検診人員	1日当検診人員	検診日数	検診人員	1日当検診人員
45年(予定)	180	9,499	53	410	23,024	56
44年	142	6,554	46	375	17,944	48
43年	130	7,174	55	221	12,174	55

展開しています。
きょうも集団検診車が巡回
し、検診を行なっています。三
十歳台の人はもちろん、受診率
の悪い五十歳以上の方も進んで
健康診断を受けて下さい。
胃ガンの場合と、同様に、早
期発見、早期治療に努めること
が、あなたをガンから守って
くれるのです。

(公衆衛生課)



▲ 安心して飲めるように水質試験

を導水管によって、太閤山ニュータウンや、これ水源を一部地下水に求めていた高岡市、小杉町、新湊市の各地区にそれぞれ送られ、低温で良質な飲料水が毎日四万ト、約一〇万人のどをうるおしている。また、工業用水として、富山新港背後の臨海工業地帯へは、現在一万四千ト供給しているが、七月からは、本格的に毎日八万トの良質で豊富な水が供給される計画。



良質な水を送る

和川水道管理所

高岡市島新

砺波市と山田村との間を流れ、庄川に合流する和田川に、昭和四十三年県営和田川ダムがつくられた。発電と洪水調節のほか、射水の穀倉地帯へ農業用水を供給。ダムに確保された水は、県営浄水場を経て、

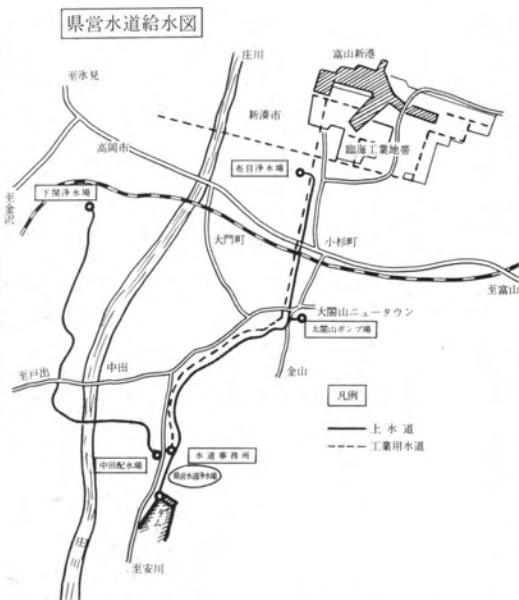


▲ 和田川をせき止めて作られた和田川ダムは 飲料 工業 農業 発電 洪水調節用にと多目的に利用されている



▲ 高速沈澱用の薬品注入装置

カメラロボ



直径19.4m 深さ 4.7 の高速沈澱池 ▶



P T A と父兄負担

P T A は発足以来すでに二十余年を経過しましたが、いまだはその存在を知らない人はないくらいです。

本県でも、P T A の活動は年を追って活発となり、その業績は全国でも高く評価されています。

しかし、この二十年余りの間に、P T A はいろいろ困難な問題を解決して進んできましたが、反面まだ不十分な点もあると思われるので、P T A の原点にたちかえって、その真のあり方についても一度考えてみたいと思います。

子供のしあわせにと

P T A のはじめは、一八九七年アメリカにおいてアリス・バーニイ夫人が「子どもたちのしあわせのために母の愛を」ということを唱え、これに賛成する子どもを守る母親たちの団体

から始まり、後に父親や教師もこれに加わり、全米的な団体へと発展していったのです。

日本では、昭和二十一年にアメリカ教育使節団が来日の折に報告書によって紹介されました

が、それまでの日本は、学校に保護者会や母の会などがあり、活躍を続けていたので、きわめて短期間に全国の小・中学校のすべてと高校に設立され、今日の隆盛をみたわけです。

このようにP T A の成り立ちの経過からみても、その目的は親が子どものしあわせを願って「児童生徒の健全な成長をはかるため」でありました。



こんなことはわかりきっているようですが、世の中には見栄や外聞で、子の願い、子の能力を無視して、あたらずの不幸を

のしあわせを見きわめることはむずかしい問題です。

P T A は、このような目的をもつ親と教師とから成り立ち、よい親とよい教師になろうという教育団体です。

そのためにはどんな活動をするれば、その目的を達することができるでしょうか。

このことについては、昭和四十二年六月の社会教育審議会の報告で明らかにされていますので簡単にまとめてみますと

- ① 学校ではどんなことを教えているか。またどういう計画をもっているか。などを教師と親がよく話し合っ、正しく理解し、これに協力する。
- ② 学校外において、子どもをとりまく危険な状況や悪い影響に対して、子どもを守り、進んで子どもによい

父兄負担を減らす

一方、学校教育に対する私費負担の状況については、地域や学校種別、学科などによって異なりますが、その内容大別すると次のようになります。

- ① P T A や振興会、同窓会などの会自体の運営費
- ② 生徒の自主活動費や生徒に直接還元される個人負担的経費

- ③ 子どもたちの日常の生活の場である地域の中で、子どもがよりよく育つように環境を改善する。
- ④ 地域の人たちと協力して、互いに連帯意識を高めて、よりよい町づくりを行なう。
- ⑤ 親と教師が平等の立場で、教育上いろいろの問題や、自分たちを高める問題について学習しあう。
- ⑥ 教育がよくなることを目指して教育に関するあらゆる問題を研究調査し、発表して、正しい世論をよびおこす。

これらのことを通じて子どものしあわせをはかり、親や教師自らも向上してゆくことになり

③ 学校教育運営のための公的経費

そこで③の公的経費のうちにも、本来公費で負担すべき標準的な経費と、少しでもよい教育環境で子供達を学習させようと願う、父兄や地元の熱意によるものがあります。

それでは、②、③の経費に対する私費負担の状況を四十四年度の地方教育費調査からみてみますと、児童、生徒一人あたりの平均の私費負担額は、小学校が約一万三、〇〇〇円、中学校が約一万五、〇〇〇円、高等学校では約二万円となっています。

これは、教育費総額に対して約二〜三割に相当し、近年漸減の傾向にあります。

九〇%が生徒会費と修学旅行

さらに、私費負担の内容をみますと、小・中学校ではその約九〇%が、生徒会費、修学旅行費、給食費、実験実習費などの主として生徒に直接還元される「学校徴収金」です。

また、高等学校では、学校後援会、同窓会、篤志家の寄付

金などの「その他の寄付金」が五割で、大半を占め、「学校徴収金」が三七割、「P T A 寄付金」が一〇割となっています。

公費負担は全国第五位

県では、毎年私費負担の軽減を重点施策として、県立学校について、①建築単価の引き上げ

②一学級当りの需要費、実験実習費の引き上げ③修繕費の引

き上げ④柔剣道場などの建設面積の拡大⑤土地の先行取得など公費予算の増額をはかっています。

四十五年度における高等学校費(全日制+定時制)での生徒一人当り公費負担は、全国平均の二万九、八六七円に対して、本県は一三万五、二七五円で、平均を大巾に上回る予算措置をしています(全国第六位)

また、人口一人当り金額で見ても、本県は五、〇七二円で、全国平均の三、四二九円を大きく上回り、第五位となっています。

県では、こんごとも市町村教育委員会、学校団体に対しては、次のように指導しています。

- ① P T A などが学校援助費、学校助成などの名目で学校に寄付していた寄付金の、公費への切り替えを計画的にすすめること。
- ② 学校後援会、教育振興会などの記念事業の自粛や、寄付金の漸減につとめ、強制的、割当的な寄付金を全廃する。
- ③ P T A 活動については、本来の目的である児童生徒の幸福な成長をはかるための会員相互の学習活動や、社会活動へ志向するよう指導するなどにより、私費負担の軽減に努めるとともに、公費予算の増額に努力していただきます。各位のご協力をお願いします。(教委・指導課)

県庁の機構紹介

企業局

私たちの生活環境をより豊かに、より快適にするためには、県なり市町村なりが住民の福祉の向上に必要な事業を積極的に独立採算を建前として経営する必要があります。このような県なり市町村が経営する事業を地方公営企業といえます。

県では、いろいろの地方公営企業を営んでいます。そのうち電気、水道および工業用水道の3事業を担当しているのが企業局です。このほか産業発展に必要な土地の造成とか、観光や産業開発のための道路事業などの新しい事業を開拓するための、調査研究も進めています。

局が経営する企業については、公営企業管理者に経営の権限と責任がまかされていますが、その補助機構として設けられているのが企業局です。局は総務、企画調査、土木水道電気の4課、出先事業所としての発電所および水道管理所からなり、それぞれが一体となって企業の業績向上と県民の福祉向上に努力を重ねています。

事業の概要は、次のようになっております。

電気事業……現在10カ所の水力発電所を営営していますが、その最大出力は11万4,900瓩で、神奈川、宮崎について全国第3位の規模を誇っております。年間発電量は4億8,270万瓩アワーで、北陸電力を通じ、各家庭や工場に供給され、豊かな生活、産業の発展に一役をになつています。

水道事業……日量6万トン(計画7万5,000トン)の給水能力を有する和田川水道管理所から、高岡、新湊市および小杉町に日量4万トン(昭和47年から6万トン)約10万人分の飲料水を送っており、生活に欠くことのできない水不足の解消に貢献しています。

工業用水事業……富山新港背後地、高岡地区の工場に、和田川水道管理所から日量30万トンの工業用水を供給するため、約40億円をかけて、第1期日量15万トンの建設工事を進めています。本年7月、一部の企業に給水を開始、明年7月完成の子定で、産業の発展、地下水低下の防止に役立つものと期待されています。

電話1本で職さがし

テレフォン・サービス開始

富山公共職業安定所では、労働力の不足時代に対処して、求職者へのサービス向上と職安のイメージアップをはかるため、昨年12月1日からテレフォン・サービスを実施しております。

テレフォン・サービスとは、職安が受け

(テレフォン・サービス日割表)

曜日	放送内容	備考
月	女子…事務職	第1.2金曜日…パート 第2.3金曜日…35歳以上の技能職
火	女子…事務職	
水	木…人材コンサルタント	第1.2金曜日…パート 第2.3金曜日…35歳以上の技能職
木	木…人材コンサルタント	
金	パート35歳以上の技能職	
土	男子…事務職	第1.2金曜日…パート 第2.3金曜日…35歳以上の技能職
日	男子…事務職	

た求人のおらましをあらかじめテープに収録して、求職者がダイヤルを回せば、休日

を問わず、次の日割表によって求人の方が居ながらにして聞けるようにしたものです。ダイヤルは、富山市内から25-1100、富山市外からは0764-25-1100となっています。



(園芸特産課)

そのため、共同施設で機械を完備し、生産、出荷のシステム化を推しすすめることが大切です。



1棟3アールの大型ハウスの建設進む福野町のハウス団地

ののひとつです。現に隣の新潟県をはじめ、日本海側での施設栽培は、野菜作安定の必須条件として、園芸作農家の柱となりつつあります。

この「施設栽培」いわゆるビニールハウス栽培は、昭和三十三年のひとつです。現に隣の新潟県をはじめ、日本海側での施設栽培は、野菜作安定の必須条件として、園芸作農家の柱となりつつあります。

これからの施設園芸



外は雪でもポカポカ……チュウリップの出荷盛ん

ななかで、北陸は太平洋側のはざかい期をねらっての作型を、こんなこすめなければなりません。また、地域的には都市近郊で輸送が便利であり、生産、出荷の機構が近代的に整備可能なところで、産地化できることです。その土地的基盤は、第二表のようにできてきています。個人経営の目標としては、施設栽培一〇〇〜三〇〇町と露地栽培一〇〇〜二〇〇町位を、基幹労働力二〜三人、補助労働一〜二人でやれるように、育苗の一部と多労を要する収穫販売労働を家族労働と切り離すことが望ましいでしょう。



トマトも四季を問わず栽培される

人工的に作物生育に最も都合のよい環境を作り、生産を安定させ、計画的に出荷できるようにするのが、施設栽培の大きなねらいです。

これら初期の間は、雪害、風害などで問題が多かったのですが、技術の進歩によって、安定的なものとなり、いまでは日本のビニールハウス栽培は、名実ともに世界一となりました。

雪国の北陸では雪害があっても無理ではないか。という観念が、ハウス栽培の未経験農家の方々にあるようです。たしかに日照不足の対応策は十分でないまでも、除雪、融雪などは、機械や技術の進歩によって、見通しが明るくなりま

洋側の暖地にまかせるべきでしょう。しかし、春先の三月中旬から晩秋にいたる気象条件は、第一表のように、日照時間も多、暴風日数も少ないので、露地栽培を含めて、自然的条件はめぐまれているといえます。

ここは常夏

施設園芸団地化進む

施設栽培のねらい

野菜の露地栽培は、気象変動による豊凶差が大きく、それに伴う需給の不均衡が価格を大きく左右します。とくに果

第一表 北陸と中部太平洋側との月別気候比較(平年値)

月別	日照時間			降水量			10mm以上降水日数		
	富山	石川	福井	富山	石川	福井	富山	石川	福井
1月	63	206	299	52	11.2	2			
2月	93	196	178	75	7.0	3			
3月	140	212	152	139	5.4	4			
4月	191	203	134	162	5.3	5			
5月~9月計	(953)	(1,040)	(913)	(1,066)	(27.3)	(26)			
10月	144	169	176	198	5.8	5			
11月	116	180	184	111	6.8	4			
12月	65	188	302	68	11.6	2			
年計	1,766	2,395	2,338	1,871	80.4	51			

第二表 地区別ビニールハウス面積と作目、作型

地区	ビニールハウス面積(S45年3月現在)	主要作目・作型	
		春夏作	秋冬作
入善町、朝日町	13,068	とまと、きゅうり(半促成)	電照菊、チュウリップ切花、その他
黒部市、魚津市	35,790	半促成とまと、きゅうり、夏菊	抑制いちご、電照菊、球根切花、軟弱やさい
富山市	75,760	半促成とまと、なす、きゅうり	抑制とまと、抑制きゅうり、軟弱やさい
小杉町、大門町、新橋市	3,826	育苗及び半促成果菜	抑制ふぎ、花木、切花、鉢物
高岡市	25,839	半促成とまと、なす	冬期用軟弱やさい
水見市	400	(育苗)及び早熟いちご	花木、球根類、切花、冬やさい
滑川市、立山町、上市町	4,853	(育苗)及び半促成とまと	抑制いちご、球根類、切花
砺波市、福野町	24,022	(育苗)及び半促成とまと、きゅうり、切花	電照菊
婦中町、八尾町	17,198	半促成とまと	抑制きゅうり、軟弱やさい
小矢部市	2,914	半促成なす、なす	抑制ふぎ、切花
福光町、城端町	1,944	半促成とまと育苗(加工用とまと)	抑制きゅうり、その他切花
計	205,614		

こんなことが知りたい / こんな場合どうしたら?

なんでも相談室



このページは、みなさんのご質問にお答えするあなたのコーナーです。あて先は富山県庁県民課へ。

小作地と小作料について

問 昨年農地法が改正されたと聞いておりますが、小作地と小作料について、改正の概要を教えてください。

答 農地法は、昨年改正され、十月一日から実施されました。その内容は次のとおりです。
一 小作料の統制がゆるめられました。
(一) 昨年十月一日以降に新しく生ずる小作料は、市町村農業委員会が定める標準的な小作料(標準額)は、各市町村によっ

て違いますので、あなたの市町村の農業委員会におたずねください。(の額を参考に、貸手と借手が自由に決めてよいことになりました。
しかし、標準小作料に比べて、著しく不当な小作料については、農業委員会から減額の勧告をうけることになりました。
なお、新しく賃貸借契約を結ぶ場合は、その内容などを農業委員会に届出しなければなりません。

(二) 四十五年九月三十日現在すでに存在していた小作地については、むこう十年間(五十五年九月三十日まで)は、いままでどおり最高額の統制が行なわれます。
二 賃貸借契約について従来は、すべて知事の許可が必要でしたが、次の場合は知事の許可

を必要としません。ただし、農業委員会に通知しなければなりません。
(一) 貸し手と借り手の双方の解約についての合意が、土地の引渡しの期限前六カ月以内で成立したもので、そのことが書面で明らかにされるもの。
(二) 十年以上の期間を決めて小作に出した場合で、賃借の更新をしない旨の通知をして解除する場合
三 小作地の所有制限がゆるめられました。
不在地主(貸付けている農地の市町村に住所がない地主)の小作地所有は、認められませんが、在村地主(貸し付けている農地の市町村に住所がある地主)については一畝(一町歩)までは、小作地の所有が認められます。
しかし、離農者に限り、在村していたとき十年以上所有していた農地については、その本人と同居生計を一つにしていた承継人の二人に限定して、不在となっても、在村地主なみの小作地所有が認められることになりました。(農政課)

越中央夜話

(最終回)

廣瀬 誠

(県史編さん専門委員)

立山のウバ堂

天正十三年八月(一五八五)豊臣秀吉は、大軍を率いて越中におし寄せた。「背搦泉達録」には「野も山も海も」軍勢で満ちたと表現されている。この勢いを見て、佐々成政はとも勝ち味がないと観念し、戦わずして秀吉の軍門に降ったのであった。

秀吉も重視していたのである。それだからこそ書状にも特筆したのである。前年の成政のザラ越えの壮挙も、立山の社寺勢力の後援なしにはできなかつたはずである。

この越中攻略の状況を秀吉は近畿の社寺や大名へ知らせてやうとした。その中で「立山・うばだう・つるぎの山の麓まで放火せしめ候」と得意そうに書いていた。立山ろくろの社寺まで焼いたというのは事実ではなく、秀吉一流の威勢のよい誇張であらう。

しかし、立山ろくろの社寺が成政の後援になっていた事実

は、秀吉はとくにウバ堂の名を挙げていたが、このウバ堂こそ芦峯でもっとも重要な仏堂であった。天正十二年(一五八四)十一月、成政が芦峯に与えた寄進状にも、まさきに「ウバ堂の威光承届候」と書かれている。前田利家・利長以下、歴代の加賀藩主もウバ堂への寄進は怠らなかつた。利長夫人玉泉院は、あつくウバ堂を崇敬している。江戸時代の紀行文の類を見ても、岩峯では立山権現を拝み、芦峯ではウバ堂を拝み、それか



ウバ堂、布橋、エンマ堂の図(県立図書館所蔵の立山縁起マンガラより)

ら立山に登拝するのがきたりであった。「立山略縁起」などによると、天地開闢の時、姥尊は右手に五穀を持ち、左手に麻の種を持って芦峯にあまくたり、天下の衆生に衣食を与え、最後にあの世へいって生死をつかさどる冥界の神になったという。日本

登拝のかわりにウバ堂に参詣した。ウバ堂におまいりすれば女人成仏疑なしといわれた。ウバ堂の最大の祭は秋の彼岸中日の布橋灌頂行事であった。ウバ堂の前の谷にかかる橋を布橋(一名、天の浮橋)という。女人たちは死装束して、まずエンマ堂にまいり、僧に導かれてしずしずと布橋を渡り、ウバ堂にはいる。ウバ堂の戸は閉ざされ、まつくらとなる。そのくらやみの中で念仏を唱える。くらしい堂中、すしづめになって念仏しているうちに、心身もうろうとしてくる。ころあいを見はからって、僧がバツと四方の戸を開く。目のくらむようなまぶしさだ。その瞬間、浄土が眼前に現われたような宗教的感激を味わったのだという。

明治維新、神仏分離の嵐が吹き荒れた時、ウバ堂は破却され、姥尊は魚津の実相院へ引き取られた。白布を敷いてその上を渡ったという、神聖な布橋もなくなってしまうた。その布橋・ウバ堂が「風土記の丘」の中心として復原工事が進められている。

しかし、布橋を渡る時、悪人

用地買収費の基準は

問 国道、主要県道、一般県道および高速道路などの用地買収費には、単価基準がありますか。

答 公共のために使用する土地(道路・水路など)の買収については、「建設省直轄の公共事業の施行に伴う損失補償基準」に準じて「富山県の用地取得に伴う損失補償基準」および同実施細則によっています。算定の基準となるのは、取得する土地の
一 近傍類地の取得価格を基準とし、その土地価格を形づくるもろもろの要素を、比較検討し

て総合的に算定した価格。
二 不動産鑑定士による鑑定価格。
三 土地の純収益を資本還元した額。
たとえば、田の場合は、一〇アール当り生産額から生産に要する経費を差し引き5/100で除した額
四 固定資産税、相続税などの課税の場合の評価額。
など、それぞれの価格を勘案して、取得する土地の正常な価格を算定します。

したがって、道路の格付けによって決められるものではなく、その地形、環境などによって買収費は異なります。(管理課)

特選に富山、立山、福野 写真の部で入賞 市町村広報コンクール

このたび県で行なった昭和45年度市町村広報コンクールにおいて、次のとおり入賞がまじり、各部門の特選は全国広報コンクール出品されました。

- 広報紙
- 都市の部
 - 特選 富山市「広報とやま」
 - 入選 高岡市「たかおか市民と市政」
- 町村の部
 - 特選 立山町「広報立山」
 - 福野町「福野町民と町政」
 - 入選 上市町「広報かみいち」
- 広報写真
- 一枚写真
 - 特選 入善町「お父さんいつてらっしゃーい」サケ・マス船団の出航
 - 入選 高岡市「ヨシシ合格」歯のコンクール

黒部峡谷

祖母谷温泉



宇奈月から黒部川に沿って南北約八〇キロ東西約一五キロにわたって、峡谷と原始林からなる黒部峡谷は、S字峡、半月峡、十字峡、猿飛峡など、日本有数の渓谷美で知られている。峡谷の探勝は、宇奈月を出発点とする関西電力の黒部軌道によって、終点 樺平へ。樺平から徒歩で奥鐘橋を渡り四〇分で名剣温泉、さらに二〇分で祖母谷温泉につく。祖母谷川の川底からは、あたかも熱湯が噴き上げているように、もうもうたる噴煙が、あたりの木々も見えなくなる位に立ちのぼり、その壮観は、むかしの地獄絵をほうふつとさせる。しかし、付近を流れる川の水は清く澄んで冷たく、自然がなせるわざとは思いつつも、ついその美観と不思議さに旅人の足をしばしとどめさせる。付近には立入危険箇所もあるので、十分注意が必要である。

(川底から噴煙あがる 祖母谷温泉付近)

二月定例県議会ひらく

「公害なき繁栄」めざして

向こう一カ年の県民生活を方向づける二月定例県議会は、新装なった議事堂において、二月二十日招集され、会期を三月八日までと決めたあと、中田知事が、四十六年度一般会計予算七億四一九〇万四千元など六二案件について、提案理由を説明しました。

知事は説明に先立って所信表明をし、就任一年間の尊い経験と反省のうえに立つて、ことしはさらに人間尊重の精神を押し進めるとともに、県政執行にあたっては、県民中心の施策を積極的に進めたいとのべました。

四十六年度の予算編成については、第四次県勢総合計画を基調として、昨年に引きつづき①住みよい富山県をつくる②富山県に繁栄をもたらす③若い世代を育てるの三つの基本方針を立て、「公害のなき繁栄」をめざしたいと説明しました。

農村生活改善発表会ひらく

知事賞堀田さん、議長賞松本さん

農村の婦人が農業や生活についての改善や実績を発表しあう「農村生活改善実績発表大会」は、二月四日農協会館ホールで開かれました。これは毎年一回行なわれているもので、



生活改善の発表をする農村婦人たち

こととして一五回目。地区の子選を勝ち抜いてきた十一人の代表は、図表やグラフを使って五〇〇人の聴衆を前に、苦勞や成果を真剣に発表しました。審査の結果、「健康な暮らしに菜づくりに」と題した上市町の堀田琴枝さんが知事賞に、「農繁期を利用したエノキ茸栽培」と題した八尾町の松本久子さんが県議長賞を受けました。

提案理由を説明する中田知事(2月20日)





日曜日の朝はテレビで県政を

テレビ
みんなの県政

県政の広報事項を、対談および
フィルム構成で放送します。

(毎週日曜日)

北日本放送(7:35~7:50)

富山テレビ(7:30~7:45)

3月7日

3月28日

こわい成人病

明るく正しい選挙を

3月14日

予算県議会を終えて

3月21日

休暇は図書館で過ごそう